



令和2年度

浜松市立浦川小学校グランドデザイン

学校教育目標

「自分らしさが輝く子」の育成

重点目標(合言葉)

「気付き・考え・やってみる子」

「何ができるようになるか」「何が身に付いたか」への改善

チームとしての学校力の向上
学校を核とした地域の創生

第3次浜松市教育総合計画
はままつ人づくり未来プラン
○ 未来創造への人づくり
○ 市民協働による人づくり



佐久間中学校区
目指す子供の姿
志をもち、自分らしく、そしてたくましく生き抜く子供

学校経営目標 子供と教職員のよさが輝き、保護者・地域から信頼される学校づくり

学び合いプラン

支え合いプラン

鍛え合いプラン

【確かな学力を育む】
○ 基礎基本と3つ柱の資質・能力の習得
・「指導と評価の一体化」を軸とした評価の充実を図りながら学びの質を高める。
・積極的な授業へのICT活用を進める。(タブレット、教材提示装置などの周辺機器、デジタル教科書、デジタル教材をはじめとするコンテンツの活用、AIドリルなど)
○ 多様性を重点した授業改善を図り「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指す
・児童が教科の見方・考え方を働かせて、自らの言葉で課題解決する力の育成
・振り返りシートの活用で学びの深まりや次の問いに繋がる学びを創造する。
○ 発達支援教育の充実
・子供一人一人に即した学習指導

【豊かな心を育む】
○ 充実した縦割り班活動を通して、「気付き、考え、やってみる子」の育成を図る。
・評価の点数化などの工夫をした振り返りシートの活用の中で、基礎的・汎用的能力の育成を図る。
○ 地域連携活動(子供教室、地域社会)の充実により自己肯定感を育てる。
・CSなどの積極的な活用や子供教室との連携により、児童の視野を広めるとともに自己肯定感を育てる。
・資料を基にした個別指導の充実を図る。
○ 凡事徹底「時を守り、場を清め、礼を正す」
・児童の自治的な活動による自浄作用により、生活習慣への意識の向上を図る。

【強く優しい心と健やかな体を育む】
○ 継続的なボランティア活動の推進
・本来の意義を理解し、自らの意思で参加できる資質を育成する。
・様々な社会福祉活動を学習しながら、「気付き、考え、やってみる」活動につなげる。
○ 健康と体力の向上(業間活動の充実)
・課題となっている走力と柔軟性の解決のため、授業や業間運動を工夫し、向上させる場とする。
・遊びを含め、子供たちの運動の自由度を上げ、主体的に体を動かす環境設定を行う。
○ 五感を開き、ストレスマネジメントを育成する。

キャリア教育の推進

保護者・地域に「信頼される学校」を目指す
・マニュアル活用による、聞き合う学習
○ よりよい集団づくりのために、自分の「よさ」を発揮している自分事としての「よさ」を認め、互いに認め合い、粘り強く取り組んでいる「学びの喜び」に満ちた授業がある。
○ 相手の気持ちを大切に、思いやりの心をもった児童と教師がいる。
○ 品位とモラルを重んじ、自分の言動に責任をもつ児童と教師がいる。
○ 児童と教師でともに作り出す整った教室環境がある。

教職員にとって「魅力ある学校」を目指す
組織的に取り組む元気で活力ある「チーム浦川」
教育活動に深い理解と熱意をもち、その職種に専門領域に精通するとともに、互いの視野を備えて業務に取り組む、心身ともに健全な教職員を目指す。以下の5つの資質・能力を向上させる。また、学校の業務内容を見直し「働き方改革」を進め、持続可能な学校運営体制の構築を図る。
○ 総合的人間力(豊かな人間性と社会性など)
○ 授業を創る力(教科領域専門性、実態把握、個に応じた指導等)
○ 子供と関わる力(児童理解・指導、学級経営、キャリア教育等)
○ 教育業務遂行力(危機管理、ICT活用、適切な事務処理力等)
○ 組織運営力(対話・協働、課題解決、コミュニケーション等)

地域
学校

市民協働による人づくり

浦川小学校学校運営協議会

児童
保護者

社会に開かれた教育課程